別紙　参考様式１

令和８年度学校経営計画

学 校 名　東広島市立乃美尾小学校
校 長 名　　植野　洋一郎

Ⅰ　学校の状況

学級数	7	児童・生徒数	６３	教職員数	１５
メールアドレス	nominoo-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/nominoo_sho/				

Ⅱ　教育目標

自ら学び　ともに伸びる

Ⅲ　経営理念（ミッション・ビジョン）

＜信頼される乃美尾小教育の創造＞
　自ら課題を見つけ解決し、学び続ける「自律」と他者と協働し新たな価値を創造する「協働」を目指し、自ら学び、ともに伸びるたくましい子供を育成する。また、学校内外の教育環境を活用した体験活動や特別活動の充実を通して、「創造」できる児童の育成を行うとともに、コミュニティ・スクールのしくみを生かしながら、児童、保護者、教職員、地域住民がお互いを認め合い、高め合うことのできる「この学校でよかった」と思えるみんなの学校を創る。
【めざす学校像】　認め合い　高め合う　みんなの学校
【めざす児童像】　自ら学び　ともに伸びる　たくましい子
「自ら考えて行動できる子」
「自分や友だちを大切にできる子」
「最後まで 粘り強くやりぬく子」
【育てたい資質・能力】「言葉の力」「思考力・表現力」「主体性」「自己調整力」
【めざす教職員像】「子供に寄り添い、学び続ける教職員」
「チーム力を発揮できる教職員」
「信頼される教職員」

Ⅳ　中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
確かな学力	1	○主体的に学ぶ児童の育成	○基礎学力の定着 ○「わかる」楽しさを感じることのできる授業づくり ○読書活動の推進	・計算コンテストや朝会でのドリル学習による基礎学力の定着と活用力の育成 ・個別最適な学びや協働的な学びを取り入れた主体的な学びの推進 ・校内研修の充実（教職員の協働的な授業研究による授業改善） ・学校図書館の充実と図書委員会の活動の活性化による読書に対する意欲の向上	・単元テストで、70%以上を達成した児童の割合 ・児童の肯定的評価の割合（アンケート）「自分から進んで学習に取り組もうとしている」「自分の考えを表現している」 ・児童の肯定的評価の割合（アンケート）「わかった」「もっとやりたい」 ・不読率の向上、読書記録による読書量

豊かな心	2	○自分や友だちを大切にし、周りの人やものに感謝できる児童の育成	○保護者・地域と連動した挨拶運動の推進 ○基本的生活習慣の確立 ○自己有用感・自己肯定感の向上	・朝会や集会時における確認と評価 ・児童会と地域のボランティアからの前期・後期のあいさつ名人・そうじ名人の表彰 ・「黒瀬・東広島スタンダード」の定着（小中連携の取組の活用） ・学級活動、児童会活動の充実 ・当番、係活動、学校行事等の振り返り	・児童アンケート（元気な挨拶・返事・履物そろえ・言葉遣い） ・保護者アンケート（挨拶・返事、きまりを守る・言葉遣い） ・児童アンケート（友だちと協力してできた、人の役に立った等）
健やかな体	3	○自ら進んで運動に親しみ、健康で安全な生活を実現しようとする児童の育成	○基礎体力の向上 ○外遊びの励行 ○安全意識の高揚	・体育科授業の工夫 ・体育朝会及び遊び朝会の工夫 ・縄跳びチャレンジウィークの実施 ・委員会による外遊びの啓発 ・達成者の掲示や放送での紹介 ・家庭での生活リズムの確立、情報モラル教育の充実（授業実施、保護者への啓発の取組）	・縄跳びで自分の目標の級が達成できた児童の割合 ・休憩時間に外で遊ぶ児童の割合 ・児童・保護者アンケート（情報モラル、SNS使用に係る内容）
信頼される学校	4	○地域とともにある学校づくりの推進	○保護者・地域連携と学校の取組の積極的発信	・コミュニティ・スクールの推進による体験活動の更なる充実 ・月１回のたより発行とHPの更新による地域や保護者へのタイムリーな情報発信	・児童アンケート（郷土愛） ・保護者アンケートの肯定的評価
			○働きがいのある職場づくり	・退校時刻と時間外勤務短縮の遵守	・相談しやすい職場であると答える教職員の割合

Ⅴ　学校評価

１　学校評価システムの組織

○自己評価（学校による評価）

○外部評価（学校運営協議会）

２　自己評価及び学校関係者評価の実施計画

○自己評価（年２回）、学校運営協議会（年３回）

○学校だより・ホームページで公表、学校運営協議会による推進計画等の評価・改善